

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

新キャブ紹介	2
新職員紹介・署名	3
学習会・外に出よう案内	4
虫めがね・スケジュール	5
夕会便り	6
実習所報告・和栗さん連載	7
小野塚さん連載	8
新所長挨拶・寄付のお礼	9
賛助会の報告とお礼	10
賛助会のお知らせ	11
編集後記	12



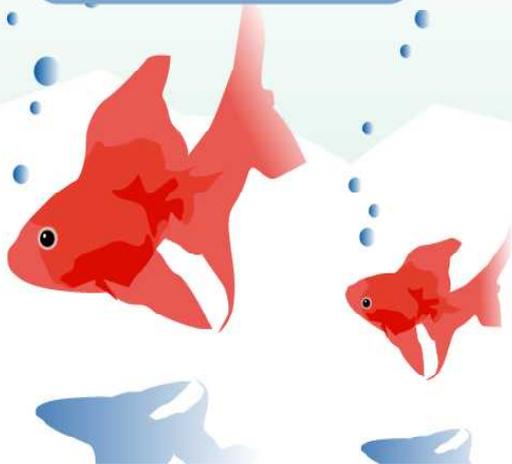
新キャブ 紹介

日本財団様から頂いた助成金で、新しいキャブを購入しました。
名前を決める為に夕会で話し合い、多数の候補の中から選出した結果、『スマイルキャブ』に決定しました。
日本財団様、有難う御座いました。
田村 亮彦

こんにちは。
おはようございます。
朝と昼間に挨拶することは大事です。
夏は暑いね。
冬は寒い。
春は桜を綺麗にみせる為
素敵な季節です。

松本 恵司

巻
頭
文



新職員紹介



名前・・・平沼 実華（22）
 血液型・・・A型
 出身地・・・千葉県銚子市
 現住所・・・東京都港区
 趣味・・・ショッピング（洋服や帽子など）
 特技・・・バク転
 好きな教科・・・体育
 よく行く場所・・・原宿



嫌いな食べ物・・・ホタテ、海老
 好きな芸能人・・・清木場俊介（元EXILE）
 好きな食べ物・・・韓国料理、生がき、うに、ラーメン、十円カルパス
 好きなお酒・・・レッドアイ、しそ焼酎、ハイボール
 好きなテレビ番組・・・サスペンスドラマ（刑事もの）
 好きな音楽・・・洋楽（HIPHOP）
 好きなアニメ・キャラクター・・・名探偵コナン、崖の上のポニョ
 好きなジブリ作品・・・崖の上のポニョ、千と千尋の神隠し、魔女の宅急便
 憧れたアニメキャラクター・・・セーラームーンに登場する、ジュピタ
 （木野マコト）

学生時代の部活・・・器械体操（中学生）陸上（高校生）
 最後に一言・・・まだまだ分からない事だらけですが、楽しくやっていきたいと思
 います。よろしくお願いします。



インタビュー 田中 聡

きょうせれん 第三十三回国会請願署名・募金運動 経過報告

国会請願署名ですが、多くの方のご協力に
 より沢山の署名と募金を頂いております。こ
 こで、現在の署名数と募金額をご報告いたし
 ます。

四月十日現在
 署名数・・・百七十三筆
 募金額・・・二万五千
 七百元

署名用紙を実習所にご郵送された皆様、再
 度署名にご協力下さった皆様、募金を下さっ
 た皆様へこの場を借りてお礼を申し上げます。
 ありがとうございます。
 なお、署名は四月下旬まで行っております
 ので、よろしくお願いいたします。

署名用紙はまだ沢山ございますのでご希望
 の方はご連絡下さい。

署名担当 岡本裕介



学習会だより

三月 十日【運河沿い散歩】

約二時間強使い、実習所近くの運河沿いを散歩しました。かなり天気が良く気温も高かったので、漕いでいた僕はかなり暑かったです。

十七日【料理】

パンケーキに生クリームを塗ったり、フルーツを盛りつけると言うことをしました。調理器具で足りないものは各自で持ち寄り、パンケーキやクリーム・フルーツ等は前もって買っておきましたので、泡立てや盛り付け、切る作業だけをしました。



二十四日【テーブルゲーム】

人生ゲーム班とトランプA・B班に分かれ、ずっとゲームをしていました。トランプ班は『ブラックジャック』一本の班と、それ以外の様々な事をやる班に分かれました。



三十一日【花見&送別会】

若干肌寒い気候の中でしたが、近くの公園に花見をしに行きました。満開では有りませんが、かなり咲いていました。

後半の時間で丸岡さん・内田さんの送別会を執り行いました。皆や御二人からの一言、そして色紙等のプレゼントを渡しました。

四月 七日【映画鑑賞】

『THIS IS IT』を皆で見ました。これを見ながら野田さんが踊っていました。

田村 亮彦

第17回障害者は外に出よう

『車椅子とともにハイクDE中央線』～東京から吉祥寺～

この取り組みは、「今まであまり遠出したことのない障害者が外に出て景色を観たり、気に入った物を買ったり飲んだりして楽しんでもらいたい」と思い、始めた行事です。

ひと班の構成は8名～10名で、介助の必要な障害者に対し3名のボランティアという組み合わせで行動してもらいます。障害者の方を迎えに行ってもらい交通機関（今回は吉祥寺周辺）を利用して目的地を散策して最終的には集合地点（今回は田町駅港南口）に戻っていただき簡単な反省会をして解散となります。また思い出を俳句（川柳）に残していただき文集として後日参加者にお渡しします。

参加者募集締切：4月30日（土）

日時：5月16日《日》9時頃～16時半まで

※雨天延期の場合は5月23日《日》

参加費：500円

お問い合わせ：障害者は外に出よう事務局 風の子会内

TEL 03-3474-9674（担当・岡本）





太田 圭子

風の子便り 四月号 虫眼鏡
私の好きな音楽はカントリーとロックで、特にハンク、ウイリアムスとエルビス、プレスリーのファンです。カントリーはいつ頃からどうして？好きになつたのかは判らないのですが、子供の頃から好きでラジオにしがみついて聞いていました。ヒドルとバンジョーとギターの、カントリー独特のあの旋律が大好きです。結婚後はラジオを聞くどころでなくなり障害も重くなつて、現在はもうぱらぱらで歌謡曲番組を見るだけになりました。



好きな音楽というテーマで書いてくれと言うので書くことにします。私が聴くのは主にクラシック・映画音楽です。しかも聴くときは、聴こえるかきこえないかのぎりぎりの音量で・・・。何となくきこえる位が心地いいですし、ストレスもたまりません。音楽を聴いているとそれまでの嫌なことも忘れ去ってくれます。どんな映画音楽かというとはり77年から80年に公開された映画です。ジョーズやロッキー・007等
007の中でも主役のジェームス・ボンドがシヨンコネリーの時代とシリーズ最多作品に出演したロジャー・ムーアが好きです。

三木 直人



スケジュール

- 5月 8日（土） 外に出よう全体集会
- 16日（日） 外に出よう
- 17日（日） 振替休日
- 7月10日（土） 歌と踊りの集い



夕会便り 担当・小野塚



3月13日の夕会では9月の旅行についてまず話し合う。かんぼの宿などがある場所をいくつか挙げてもらう。メンバー、ボラ共に高齢化が進んでいること、今年は初参加の新職員が多いことなどをふまえて遠距離は避けようということでもとまる。次の議題は月末に行われる送別会について。内田さんへのプレゼントは何にしようかということで、みんなで意見を出し合う。花や歌、オルゴール、中にはまごころを、というメンバーもいたが結局まとまらず、次回へ持ち越し。



翌週、20日の夕会では前週に引き続きプレゼント決め。内田さんだけでなく丸岡さんへの贈り物も考える。何に決まったか？ それは二人がいつかまたボランティアとして来てくれたときにでも聞いてみて下さい。次は風の子の新しいキャブ（詳しくは別記掲載）の名前を考えようということに。ササキャブ、あこがれキャブ、宇



宙戦艦キャブ（？）などバラエティーに溢れた名前が出たが、あまりに多く出過ぎて收拾がつかなくなり次回へ持ち越し。残りの時間で旅行の新しい候補地を2、3ざっと説明。

（前回の塩原旅行）



3月27日の夕会。前回に引き続き新キャブ名決め。竹キャブ、百合キャブ、青春キャブ、愛という名のキャブ（！）など前回同様に様々なアイデアが出るが、決を採ってみると“スマイルキャブ”というスマートなネーミングに落ち着いた。次に旅行の場所決め。富士、涸沼、鴨川などが挙げられ、今年は塩原に行こうということに決まる。

4月3日の夕会では歌と踊りのつどいで何を演じるかについて話し合う。忠臣蔵や崖の上のポニョなどいろいろなアイデアが出て、最終的に演目は〇〇〇に決まる（発表日がまだずいぶん先なので、何をやるかはまだナイショ）。次に、今月から新体制の風の子が始まるので、これからどうやっていきたいかをみんなですディスカッション。もっと作業時間を長くしてほしい、メンバーを増やそう、職員室を綺麗に、など活発に意見が飛び交う。

実習所便り

（工房）

実習所便り、今月号は風工房の野田広一さんに、私、太田稔がインタビューしてみました。

Q 自分の今している仕事は？

A 和紙を作るためのパルプを、ミキサーで混ぜています。

Q いつも注意していることは？

A この作業で一番難しいのは、ミキサーを回す時間です。

これが長いとせんいが小さすぎてしまし、短いと大きすぎてしまつからです。



Q 仕事は楽しいですか？

A 和紙の仕事は楽しい。
内職の名刺ふきと箸入れも好きな仕事です。



（企画）

いま実習所では、外装工事が行われていますが、四月半ばで終了することです。
新しい女子職員さんも、入って新体制の下、四月からまた新しい気分で、実習所に通いたいと思っています。



太田 稔

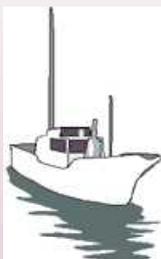
シベリア出兵秘話

最終話中編

翌九月二日早朝、金塊輸送部隊全員、大広間に整列、瀬藤部隊長を待つていた。真新しい冬の軍服の両肩には一階級特進の階級章が朝の光にまぶしい。やがて大広間に、

「幸せだった、よくぞ困難な作戦を乗り切つて、成功裡に本日をもつて本作戰を終了する。只今より、釜山港から船で大連に向かう、瀬藤少将は、大連までお前たちと同行する。」

部隊は、トラック三台に分乗、京城（ソウル）から、列車で釜山へ、釜山港には、すでに船には内地から満州に送られる新兵が多数乗つていた。瀬藤少将と、原吉中佐以下、四十八名の将兵を乗せた、光陽丸千八百トンは、釜山港を後に一路大連に向け出港した。



栗 あきひ

わたるのドミトリライフ

【ドミトリとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第26話 ツカシという頼りない先輩

4年目のまっとうな生活リズムへの転換は、とりあえずは成功した。日中はきちんと大学へ行って講義を受け、夜は缶ビールを1缶開けてベッドにもぐりこむ。普通の、当たり前前の大学生が当たり前前に経験するはずのキャンパスライフを、4年目にしてようやく僕は獲得できた訳だ。けれどもだからといって、それまでの寮生活の3年間が無駄だったかといえば決してそうではない。大学に入るまでの家で生活だけでは得ることのできなかった経験を、この寮でたくさんすることができた。夜通し遊ぶこと、親を介在しない僕だけの体当たりで築き上げた友人たち、叶わなかったけれど想いを打ち明けることができたいくつかの恋、そして大学という場で学べる多くの学問。それらすべてが、僕にとってかけがえのない財産になっているはずだ。

「ツカシ、カラオケ行こ！」「おう！ メンツは？」「トモとタクちゃんとキイチロとサイタと・・・あと1年生が何人か」「んじゃ車だな。準備できたら行くか」「うん！」3年目あたりから、僕は後輩から“ツカシ”と呼ばれるようになっていた。小野塚に氏を付けて、頭2文字を抜いてツカシ、という訳だ。ニックネームをつけられるということは、周囲から一定の愛着を持たれているということだ。だから僕は当時この呼び名がとても好きだった。

日中は大学での講義をメインに、そして夜はこうしてたまに声をかけられてカラオケやボーリング、麻雀などの夜遊びを満喫する。この、勉強と遊びをうまく両立できる学生生活をもうすこし早くにできていればとも思うのだが、今更そう思っても仕方がない。とりあえずは卒業に向けてこのスタイルを全うするしかない。

4年生というのは、最上級生ということでもある。僕が1年だった頃の4年生はとても大きな存在だった。時に厳しく、時に優しく、後輩たちをみてくれた。自分がそういう立場になった時にそういう役割ができるのか、正直に言えば不安だった。けれど先輩たちから学んだもの、受けた恩を後輩たちに示したいという思いも確かにあった。

だから僕は僕なりに、先輩であろうと試みた。頼りない先輩ではあったが、僕にでき得る形で必死に先輩を演じた。“ツカシ”というキャラクターも僕にとっていい媒体となった。明るく楽しく、時にわがままで時に破天荒で、仲間と共に笑い、共に怒った。ツカシという先輩は、そういった背景の中で成長していった。

僕が、先輩として頑張ろうとしていたときに、頼りになる仲間が一人いた。同じ学年で、いつもつかず離れずという距離にいて、何でも気軽に話せて、お互いに愚痴を言い合い、笑い怒り泣きあった、親友と呼べる存在だ。4年目になると、寮の行事をおろそかにしてしまう寮生も少なくない。4年生というのは卒業と就職活動をメインに日々を過ごす訳で、だからそれも仕方ないことともいえた。そんな中でも僕と彼は行事への参加率は比較的高かった。たまには後輩たちに声をかけて遊びに出かけたりして交流を深めていったりもした。それは、僕一人ではできなかったし、彼がいたからこそ積極的に後輩にアプローチができたのだと思う。

学生として勉強に励み（そう言い切れるほど必死に取り組んだかどうかはともかく）、寮生として親友や後輩たちと楽しく過ごす。僕の4年目は、とりあえずは順調に過ぎていった。

～ 第27話につづく ～

新所長挨拶

この度、丸岡秀明所長の退職に伴い新しく所長に就任しました、岡本裕介です。風の子の職員として勤めて、はや七年。まさか私が所長になるとは夢にも思いませんでした。しかしながら、所長という重責を職員、メンバーと共に力をあわせて乗り切っていきたいと思えます。

今年は風の子会にとって、とても変化のある年になると思います。今まで風の子会を縁の下で支えてくれた職員が四名、退職したからです。正直、今までおんぶに抱っここの状態で仕事をしてきた私にとっては、不安でいっぱいです。でも、これを良い機会に自分自身もチェンジ（某国の大統領ではありませんが）出来れば良いと思います。

また、残った職員、新しく入った職員もみなとても素晴らしい人達ばかりです。新しく入った職員はやる気に溢れ、とても斬新なアイデアの持ち主ばかりです。新しく入った職員、そして残った職員、メンバーみなで頑張れば必ずやこの変化を良いものに出ると信じています。

最後になりましたが、今後色々ご迷惑を掛けることも多々あると思いますが、時に厳しく、そして時には優しく、よろしく願います。



寄付のお礼

賛助会にご賛同

下さった方

小西雅子様、中山信孝様、

ご寄付を下さった方

井出義文様、高野力ネ様、

薛永日様、薛陳月美様、

薛美沙様、薛美利様、

薛芬芳様

ご協力ありがとうございます。
ごぞいます。



賛助会のご報告とお礼



日頃、風の子会の活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。おかげさまで今年も多くの方々に賛助会にご加入いただきました。皆様の暖かいご支援に対し、厚くお礼申し上げます。

賛助会の基金は、本来は長期の計画や、大きな額の資産となるものの購入などに充てるために積み立てるべきものですが、運営財政状況が逼迫しておりますので、昨年度も通常運営費に繰り入れさせていただきました。ここにご報告をさせていただくとともにお礼申し上げます。

賛助会員の方々は次の通りです。充分注意してはおりますが、万一誤りや、漏れがございましたら深くお詫び申し上げますとともに、ご連絡下さいますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

賛助会員ご芳名（平成22年3月31日 現在）50音順

相蘇正義様、阿部りょう子様、天海喜美子様、雨宮蓉子様、新井ミヨ様、井伊俊夫様、飯尾直美様、伊藤隆夫様、伊藤めぐみ様、伊野秀信様、今泉浩子様、牛島紀子様、内田茂様、江尻公一様、太田ヨシエ様、大島冷子様、大野誠様、大野正美様、ゆきみ様、岡竹徹様、岡本和子様、小倉英克様、小野田和子様、小野塚智香子様、小野由紀子様、神谷和子様、神谷之和様、亀田いづみ様、木田節子様、国枝三代子様、黒澤フミ様、光悠デｲｰビス様、小久保薫様、小西雅子様、近藤綾子様、佐久間健様、佐々木厚子様、塩崎良子様、司城多喜子様、司城不二様、島田保江様、島村享延様、末吉ミヨ子様、鈴木公子様、諏訪敏子様、仙頭邦子様、染谷寿美恵様、反町美佐子様、滝口雅祥様、田中聡様、田中紀義様、あけみ様、田中マサ子様、谷島イクエ様、綱島辰也様、中井英代様、長坂富紗子様、長野松男様、中村恭子様、中山進様、長谷川誠様、波多野順治様、栄子様、羽鳥貞子様、原田洋子様、春名千代美様、福島佐知子様、福島照行様、松沢廣司様、いく世様、吉招様、松本成子様、松本みづえ様、松本浩美様、丸毛波津様、三木順子様、武藤金一様、元井正子様、森美代子様、森部様、諸角始子様、山形和子様、山岸久雄様、山崎真理子様、山本喜美枝様、湯川揚子様、吉水和男様、吉本道子様、渡部一元様、和田省三様

以上 90名様
匿名の方 7名様。合わせて 94名様
合計 98万7千円

平成22年4月

風の子会・総務部
(担当職員 岡本裕介 03-3474-9674)



特定非営利活動法人「風の子会」 賛助会任意加入のお願い

日頃、風の子会の活動にご理解、ご支援を頂きありがとうございます。おかげさまで風の子会は、「一人ぼっちの障害者をなくそう」のスローガンのもと、活発な活動を続けることができいております。皆様には心より感謝申し上げます。

さて、風の子会は昨年度から、「自立支援法」に基づく運営に移行いたしました。新しい制度のもと、従来の仕組みを変えていかなければならないこともいくつかあり、財政的にも厳しい状態が続いております。私どもも手探りでの運営ですが、何とかこの1年を乗り切って参りました。自立支援法はまだいろいろと状況が変わりつつありますので、少しでも良い方向に改正されていくことを望んでおります。

ご承知の方もおいでかと思いますが、風の子会には賛助会という制度があります。これは、ご加入頂いた方から賛助会費を頂き、主に資金面でのご支援をお願いするもので、昭和61年（1986年）より設けられているものです。本来は、車椅子用車両購入や整備、新しい事業などのために資金を積み立てることを目的に設けられたものですが、現状では上記のように財政が逼迫しておりますので、賛助会費は通常の運営費用に組み込ませて頂いております。

すでに多くのご協力を頂いている皆様には重ねてのお願いで恐縮ですが、是非、賛助会の趣旨をご理解の上、新たにご加入下さいますようお願い申し上げます。また現在風の子会の一般会員になっておられる方も、賛助会にもご加入頂けると幸いです。

賛助会会員の方には、風の子会の機関誌「風の子便り」をお送りし、会の活動をご報告いたします。ご加入頂けます方は、同封の振込用紙をご利用頂くか、下記口座へのお振込をお願い申し上げます。

賛助会費： 年間一口3,000円以上お願いできれば幸いです。

郵便振込先： 「風の子会」 口座番号 00150-2-170884

銀行ご利用の方は、下記口座へお願いします。

銀行名： 三井住友銀行 三田通り支店（店番号623）

口座名： 特定非営利活動法人 風の子会賛助会

口座番号： 普通 6864494

賛助会についてのお問い合わせは担当職員 岡本裕介（03-3474-9674）へお願いいたします。

平成22年4月

特定非営利活動法人 風の子会
会長 花田 政國

外に出ようのキャッチコピー「車イスとともにハイクDE中央線」。会議の結果中央線に決定し、田町駅南口に集合です！雨になったら延期です。皆さんの参加待ってます。

ちなみに五月二十三日は僕の誕生日で、49歳です。風の子メンバーの幸さんと同じ日です。

幸さんとの運命の出会いが八丁の頃で、ホテルで隣の席になり、一緒にいました。見たら首コルセットをしていて、痛そうに顔を背けていました。

テレビ番組で流れていたナツメロが好きで、おふくろに歌がうまいとほめられて嬉しかったです。その日の午後はすみれ会でカラオケをしました。カラオケはお袋にとってストレス発散になっているようで、健康に良いと思いました。いつまでも長生きに元気でいて欲しいです。

松本 恵司

編集後記

僕は花粉症では無いが、この頃の天候・気温の激しい変化にいつも体調を崩しています。早く天気が安定して欲しい今日この頃です。

田村 亮彦



食卓に洋食が入ってきてから、ドライマウスの日本人が増えているそうです。本来人間は1リットルから1.5リットルの唾液が出ているのが普通だそうですが、唾液には歯の石灰化や殺菌作用があり病原菌から身を守ってくれるそうです。がしかし唾液が足りないと死滅する前に体内に入り込み様々な悪影響を与えて人間を苦しめるそうです。風邪や花粉症等。対策としては口のストレッチをしたり、固い物を食べて咀嚼（そしゃく）回数を最低でも30回に増やすことです。

三木 直人

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

編集者
 太田野田 小中本 松田 吉田 久恵 代子 三司 幸三 栗高 和史 田村 久間 佐久間 太田 亮彦 三木 直人

編集人：【高浜生活実習所】
 生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
 東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
 TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
 東京都世田谷区砧6-26-21

